

デジタルえびな生きもの大調査2025 調査報告書

- ・ 海老名市では2021年から2024年まで「えびな生きもの大調査」を実施してきました。
- ・ 2025年はアメリカのNPOが運営する生物多様性のデジタル・プラットフォームである「iNaturalist」を使って「デジタルえびな生きもの大調査」を実施しました。

内容

方法： iNaturalist上の「デジタルえびな生きもの大調査」プロジェクトに、参加者がスマートフォンなどで撮影した海老名の生きものの写真を投稿してもらいました。

期間： 2025年9月27日（土）から11月28日（金）までの9週間・63日間。

参加者数： 57人

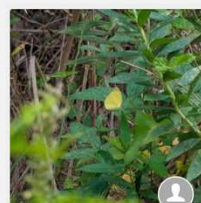
主催： 海老名市

共催： 麻布大学高大接続・社会連携プログラム開発センター

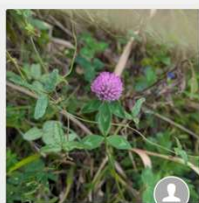
生きもの観察会について

9月27日(土)にキックオフイベントを海老名運動公園で開催しました。
iNaturalistの使い方を学び、公園内の生きものを観察しました。

生きもの観察会の様子



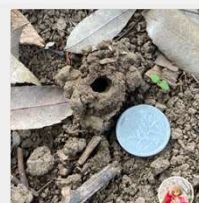
キタキチョウ
(*Eurema mandarina*)
研究用 3 9月 '25



アカツメクサ
(*Trifolium pratense*)
研究用 2 9月 '25



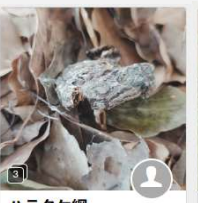
オニグルミ
(*Juglans asiatica*)
研究用 2 9月 '25



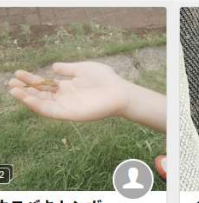
ドロバチ亜科
(目科 Eumenidae)
研究用 1 9月 '25



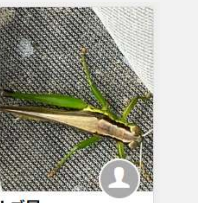
エノコログサ
(*Setaria viridis*)
研究用 1 9月 '25



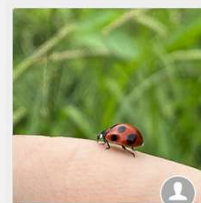
ハラタケ綱
(綱 Agaricomycetes)
研究用 2 9月 '25



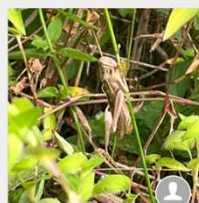
ウスバキトンボ
(*Pantala flavescens*)
研究用 2 9月 '25



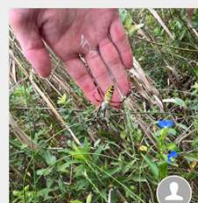
イナゴ属
(属 Oxya)
研究用 4 9月 '25



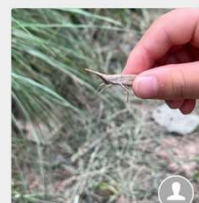
ナナホシテントウ
(*Coccinella septempunctata brucki*)
研究用 3 9月 '25



ツチイナゴ
(*Pitardia japonica*)
研究用 4 9月 '25



ナガコガネグモ
(*Argiope brunneicincta*)
研究用 2 9月 '25



オンパッタ
(*Atractomorpha lata*)
研究用 3 9月 '25



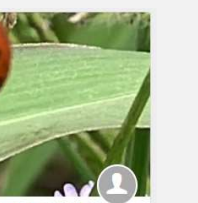
ヤマトシジミ 本土亜種
(*Prescotena maha origia*)
研究用 4 9月 '25



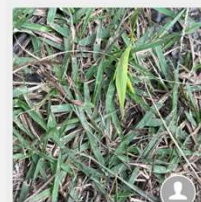
アメリカザリガニ
(*Procambarus clarkii*)
研究用 2 9月 '25



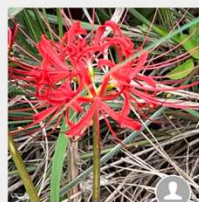
エンマコオロギ
(*Telogeomys emma*)
研究用 3 9月 '25



ナナホシテントウ
(*Coccinella septempunctata*)
研究用 3 9月 '25



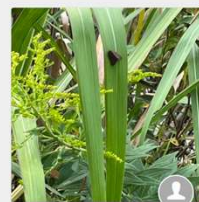
オンパッタ
(*Atractomorpha lata*)
研究用 2 9月 '25



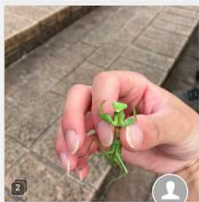
ヒガンバナ
(*Lycoris radiata*)
研究用 2 9月 '25



ヒメウラナミジャノメ
(*Ypthima argus*)
研究用 2 9月 '25



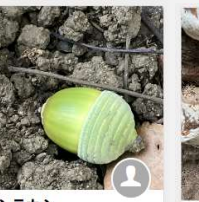
チュウゴクアミガサハゴロモ
(*Pochazia shantungensis*)
研究用 2 9月 '25



ハラビロカマキリ 基亜種
(*Hierodula patellifera patellifera*)
研究用 3 9月 '25



ゴマダラチョウ 日本本土亜種
(*Hestina persimilis japonica*)
研究用 3 9月 '25



シラカシ
(*Quercus myrsinifolia*)
研究用 2 9月 '25



タマショレイタケ科
(科 Polyporaceae)
研究用 1 9月 '25



オンパッタ
(*Atractomorpha lata*)
研究用 2 9月 '25



キマダラカメムシ
(*Erthesina fulva*)
研究用 3 9月 '25



タマスダレ
(*Zephyranthes candida*)
研究用 2 9月 '25



チャパネセセリ
(*Pelopidas mathias*)
研究用 2 9月 '25



ジョロウグモ
(*Trichonephila clavata*)
研究用 3 9月 '25



ツマグロヒョウモン
(*Argynnis hyperbius hyperbius*)
研究用 2 9月 '25



アレチハナガサ
(*Verbena brasiliensis*)
研究用 2 9月 '25



オンパッタ属
(属 Atractomorpha)
研究用 2 9月 '25

iNaturalist上のプロジェクトページ



概要 1,938 件の観察記録 633 種 179 IDENTIFIERS 34 OBSERVERS 統計

観察記録数



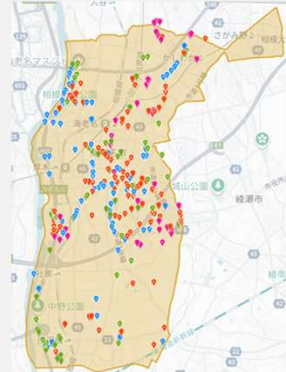
● 研究用
● 要同定
● カジュアル

種数



● 不明
● 原生動物
● 菌類
● 植物
● クロミスタ
● 軟体動物
● 昆虫類
● クモ綱
● 条鰭綱
● 両生類
● 爬虫類
● 鳥類
● 哺乳類
● その他の動物

分布



参加者の記録

最多観察記録数

ユーザー	記録数
gg_copen	838
nagimamma	332
atsushi_nakajima_cirque	222
c5000	75
yah_japan	67
dktaro	65

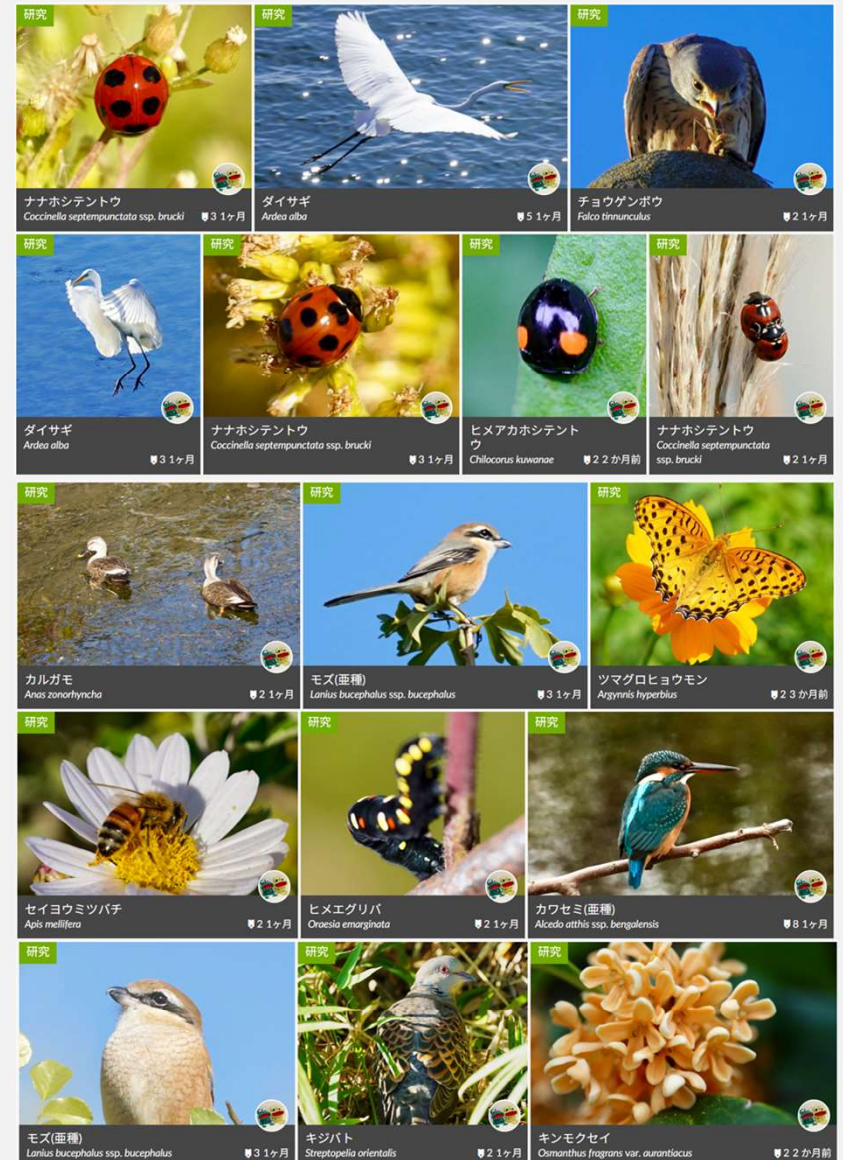
最多観察種数

ユーザー	種数
gg_copen	271
nagimamma	155
atsushi_nakajima_cirque	65
c5000	63
yah_japan	48
dktaro	46

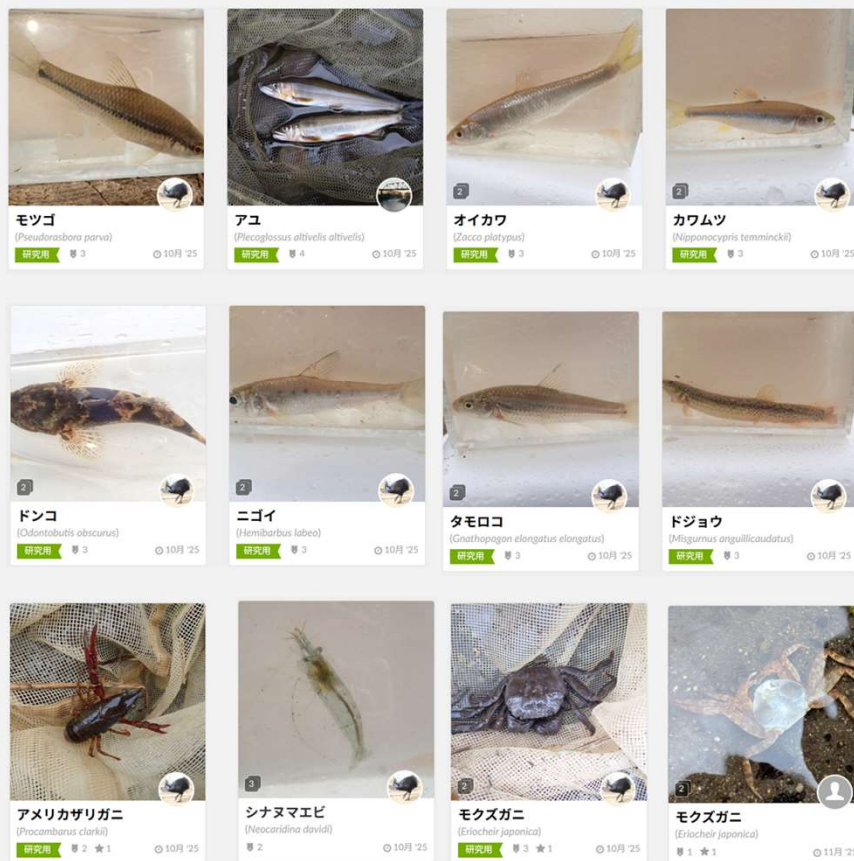
最多同定数

ユーザー	同定数
rzeczpospolita	644
nagimamma	171
jh7602	85
hakkahamushi	69
takuyatamura	57

コメント・いいねが多かった観察記録



魚やエビ・カニの観察記録

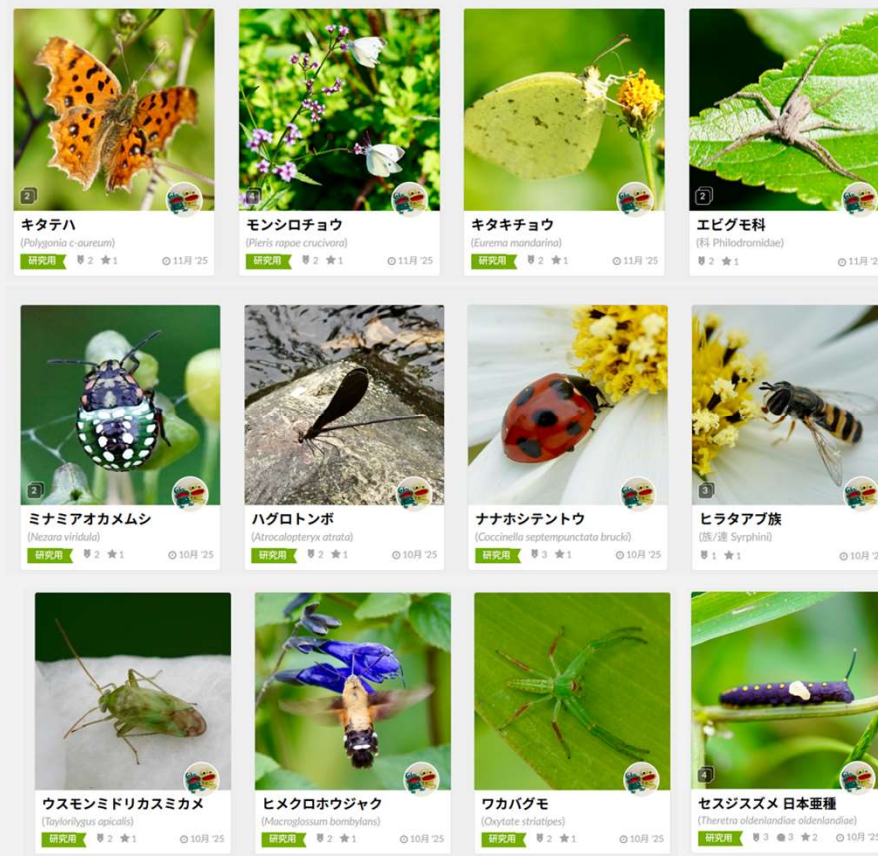


生きもの	観察記録数	種数
魚	20	14
エビ・カニ	6	3

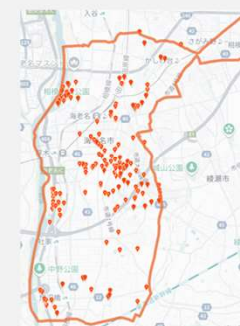


魚の分布

昆虫やクモの観察記録

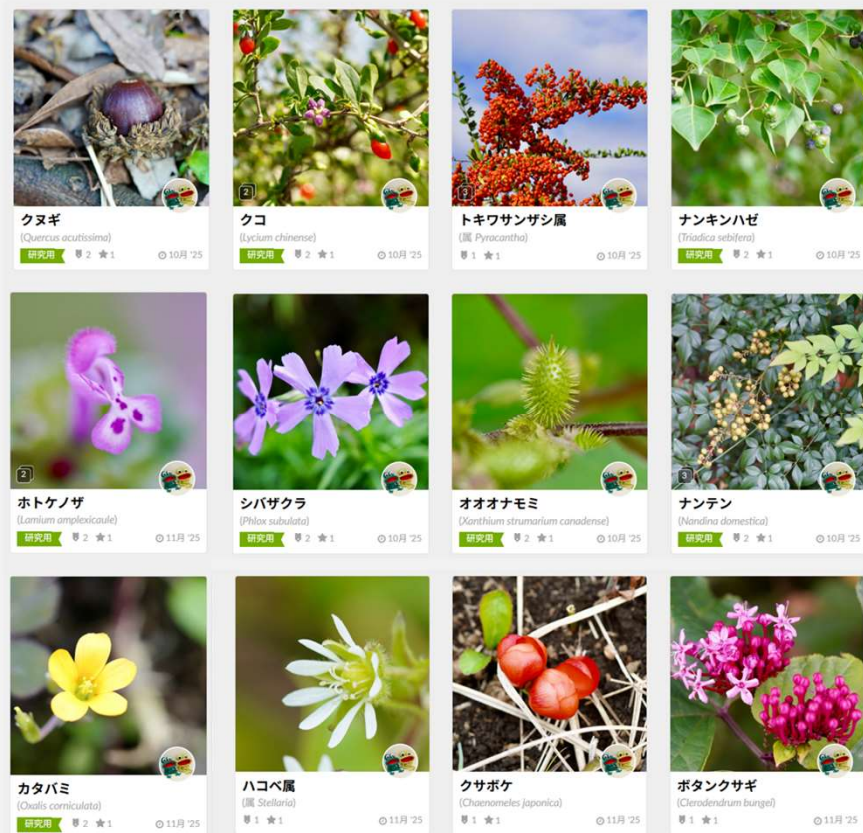


生きもの	観察記録数	種数
クモ	72	24
昆虫	846	228



クモ・昆虫の分布

植物の観察記録

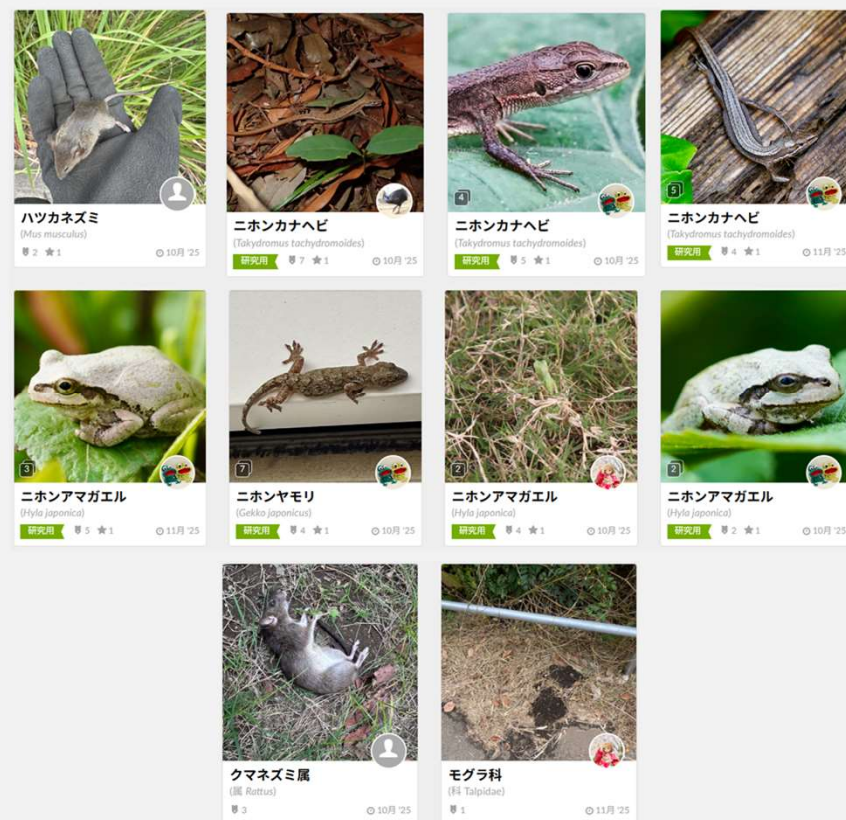


生きもの	観察記録数	種数
植物	500	200

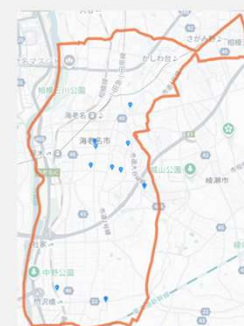


植物の分布

哺乳類・爬虫類・両生類の観察記録

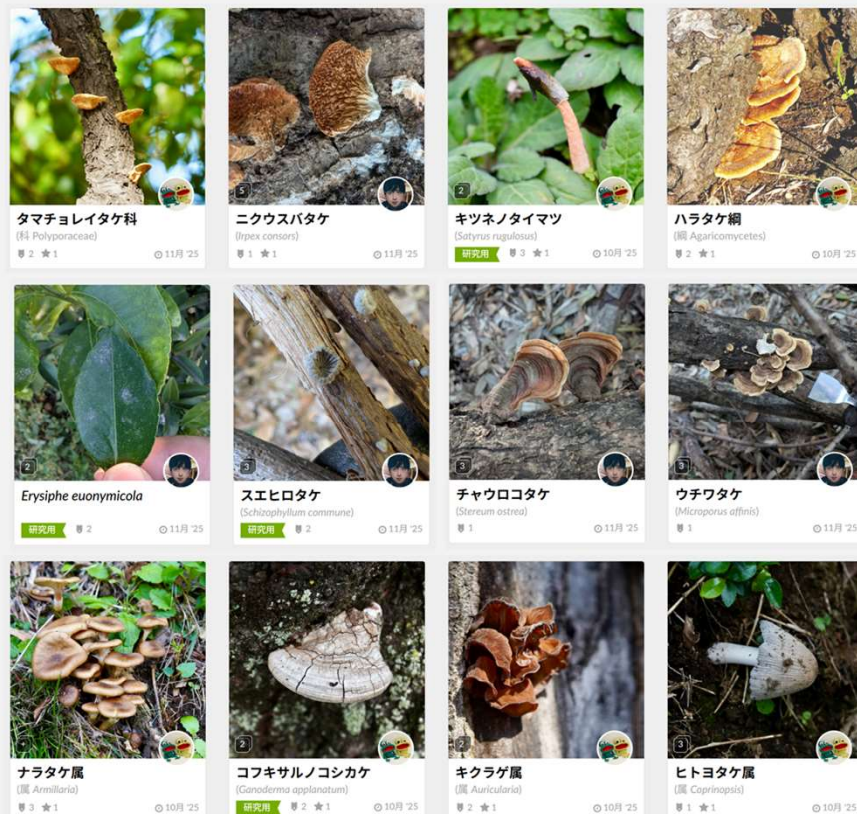


生きもの	観察記録数	種数
哺乳類	3	3
爬虫類	4	2
両生類	3	1



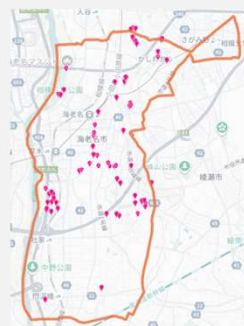
哺乳類・爬虫類・
両生類の分布

菌類の観察記録



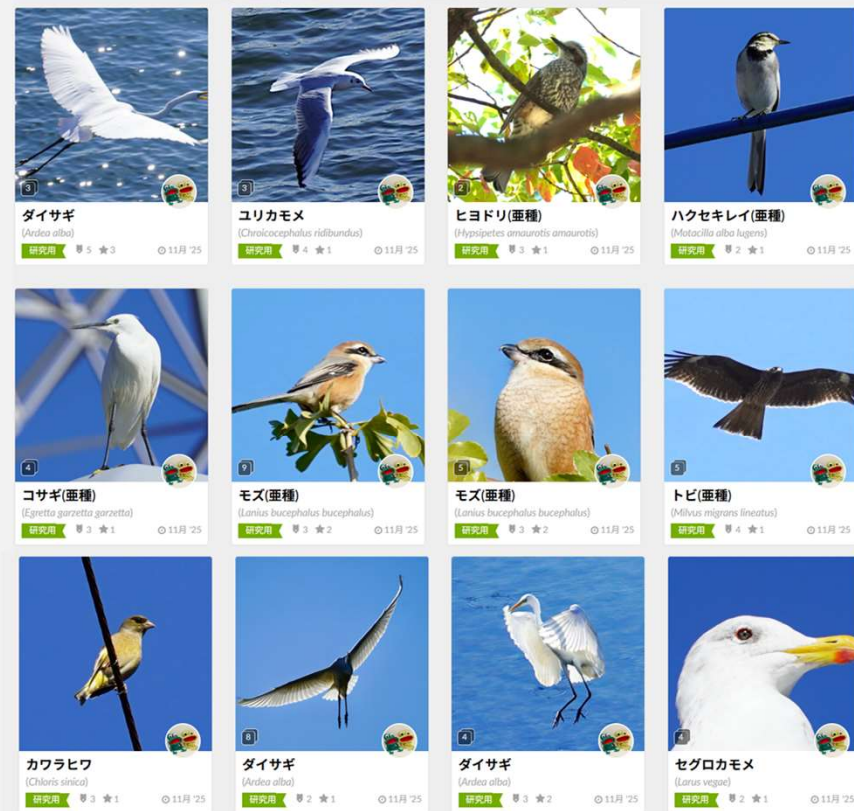
生きもの 観察記録数 種数

菌類 279 104



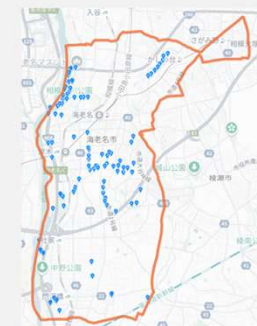
菌類の分布

鳥類の観察記録



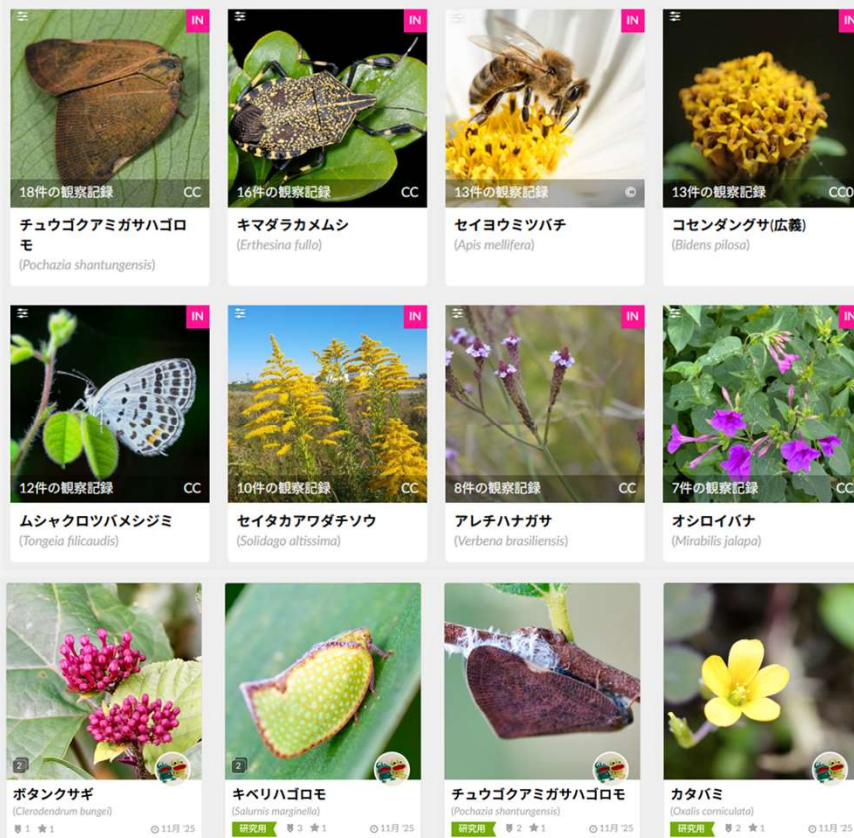
生きもの 観察記録数 種数

鳥類 182 39



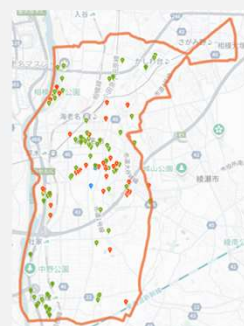
鳥類の分布

外来種の観察記録



生きもの 観察記録数 種数

外来種 182 39



外来種の分布

生物多様性への貢献

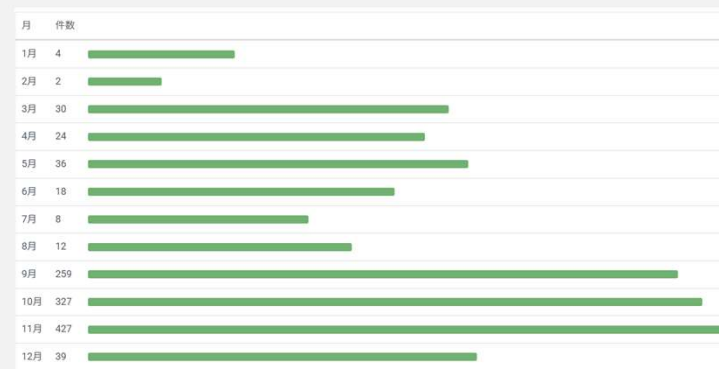
・iNaturalistの登録ユーザーは、観察した生きものの種の「同定」を提案します。その提案に、他のユーザーが同意すると、その観察記録は、「研究用グレード」の観察記録となります。

・「研究用グレード」の観察記録は、世界中の生物多様性情報を集約している国際機関である「地球規模生物多様性情報機構」=GBIF(Global Biodiversity Information Facilities)のオカレンスデータ(生きものの発生記録)として記録されます。

・GBIFには海老名市内で今までに10,469件のオカレンスデータが記録されています。(2025年12月24日現在。)

・2025年のオカレンスデータは1,186件ですが、全てiNaturalistの研究用グレード観察記録のデータセットです。

・2025年のオカレンスデータの月別数は下の通りです。



・「デジタルえびな生きもの大調査」を実施した9月、10月、11月で1,013件のオカレンスデータが記録されました。これらのデータは世界の生きものの分布を示す資料として、世界の生物多様性情報に貢献しています。



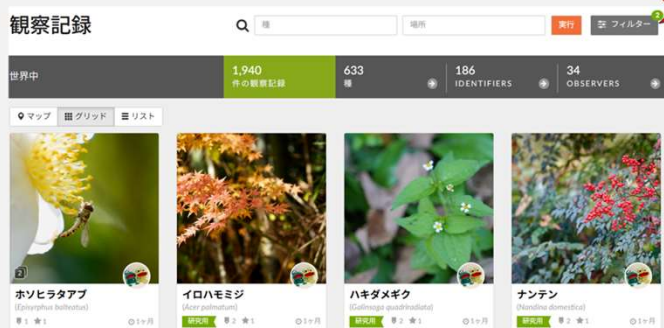
プロジェクトを見る！

※まずは海老名のプロジェクトページを開こう！

1) 「観察記録」をクリックします。



2) 「フィルター」をクリックします。



3) フィルターを使って観察記録を探します。



※日時や場所、種や観察者などで観察記録の表示を変えることができます。

例えば、鳥だけとか植物だけとか、絶滅危惧種だけとか外来種だけとかを表示も可能です。



デジタルえびな生きもの大調査



海老名の生物多様性情報

iNaturalistで生きもの観察

- ・誰でも無料で利用できます。
- ・ユーザー登録が必要です。13歳未満の方は保護者と一緒に。



Webページ



iPhoneアプリ



Androidアプリ

・iNaturalistを知るための動画



・iNaturalistで生きもの観察をしよう！

iNaturalistの観察ステップ！

ステップ1
写真撮影
生きものを見つけて
スマホでパシャリ！

ステップ2
種類を確かめよう
[何をみましたか]をタップ
感じるままに選ぼう！

ステップ3
データを投稿！
画面下の[✓]を押して
投稿完了！



ココを
タップ！

観察のコツ！

その1
画面いっぱい！
生きものの特徴がよく
見えるから
同定が正確
になるよ！

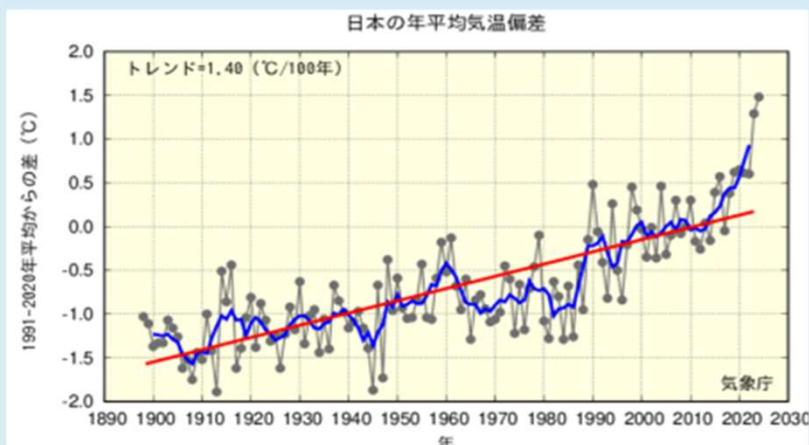
その2
キノコは裏まで
キノコは表
だけじゃなく
裏まで撮ると
同定のヒント
になるよ！

気を付けて！
観察上の注意
熱中症に要注意！
こまめな
水分補給や
暑さ対策を！
スマホの設定を
チェック！
位置情報や
ファイル形式など
確認！
ペットや園芸種は
ちょっとまって！
イヌやネコ
花だんの植物
は対象外！

生物多様性とSDGs

この100年間で、
日本の平均気温は約1.4℃上昇しています。

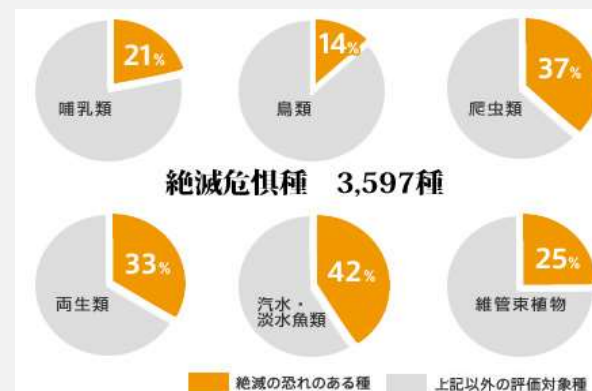
日本の年平均気温の上昇率は、
世界平均よりも高くなっており、
真夏日、猛暑日、熱帯夜等の日数が増え、
冬日の日数は減っています。



いま、地球全体で温暖化が進んでいます！

生物多様性の危機

地球の気温が1~3℃上昇すれば、20~30%の生物が絶滅に近づくと言われています。



地球の気温が上昇すると、今まで暖かい地域で生息していた生きものの生息域が北上し、寒い地域で生息していた生きものが住処を追われます。これは、従来の生態系を壊すことに繋がります。



今回の調査で、ツマグロヒョウモンの報告がありました。下記のいずれも、温暖な地域で生息するチョウであり、気温の上昇に伴い生息域が拡大しました。



ツマグロヒョウモン

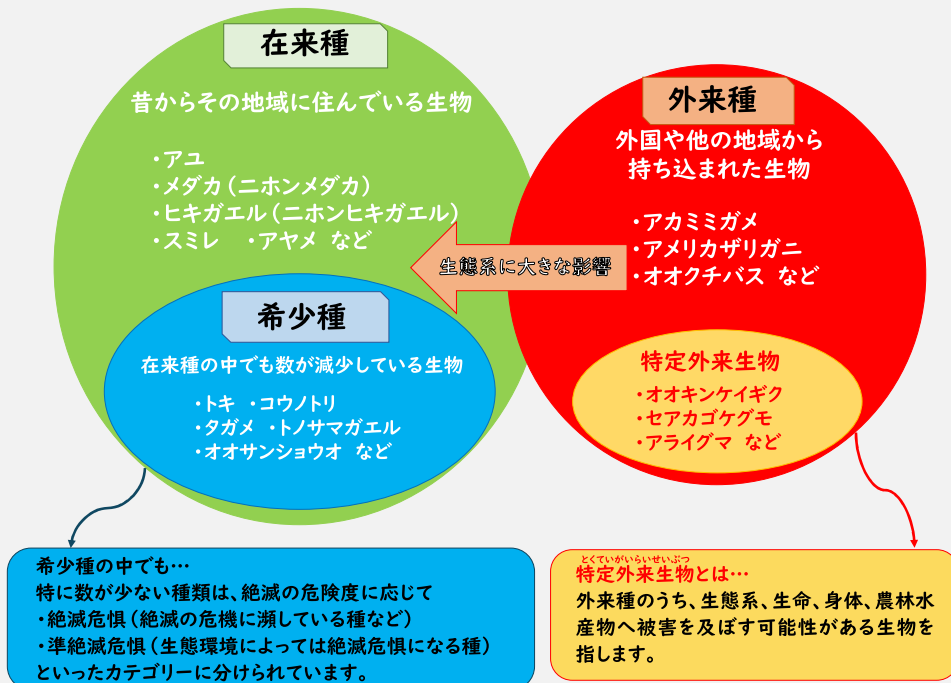


ナガサキアゲハ

在来種と外来種

外来種は外国の他の地域から持ち込まれた生物のことを指し、ほとんどの外来種は人の手によって持ち込まれたものです。

外来種は、昔からその地域に住んでいる在来種を食べたり、住みかを奪うなどして生態系を大きく壊してしまう恐れがあります。



「30by30」目標とは、2030年までに、陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標です。環境省は、2030年までのネイチャーポジティブ（自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させること）実現に向けた目標として位置付けています。



市内で確認されている特定外来生物

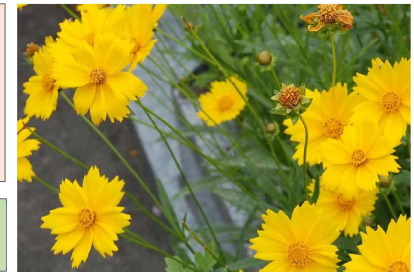
特定外来生物は、強靱な生命力で日本固有の野草を駆逐してしまうため、生態系に重大な影響を及ぼす恐れがあることから、外来生物法により、栽培・運搬・保管・販売が禁止されています。

特定外来生物 【キク科 体 長：30cm～70cm 原産地：北アメリカ】

オオキンケイギク

どんな植物

初夏に花を咲かせる多年草です。花びらの色は黄橙色で、花の中央部も同じ色ですが品種によっては、基部が紫褐色のものもあります。多年草であり、種子が地中で生き残るため、同じ場所に何年も生える可能性があります。北アメリカ原産の植物ですが、日本のほかにも台湾やニュージーランドでも定着しています。



住んでいる場所

- ・河川敷や線路際などの荒地や海岸
- ・市内の各地で確認されています。

在来種への影響・被害

高い繁殖能力を持っており、他の植物の生息場所を奪ってしまう恐れがあります。

オオキンケイギクを見つけた時は

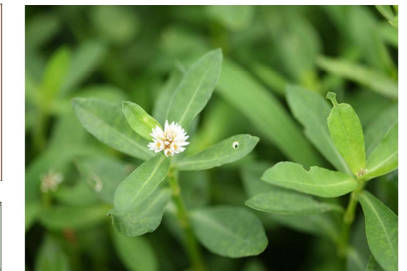
- 1 根ごと抜き取り、種が落ちないように処分してください
- 2 袋の口を縛って密閉させ、枯死させてください

特定外来生物 【ヒコ科 体 長：50cm～100cm 原産地：南アメリカ】

ナガエツルノゲイトウ

どんな植物

4月から10月に花を咲かせる多年草です。小さく白い花を咲かせます。茎が中空構造になっており、水に浮くことができるため、流れ着いた先で繁殖します。乾燥に強く、茎切片から栄養繁殖することができます。南アメリカ原産の植物ですが、日本のほかにも台湾やオーストラリアでも定着しています。



住んでいる場所

- ・田んぼ、用水路などの水辺
- ・市内では、大谷などで確認されました。

在来種への影響・被害

高い繁殖能力を持っており、他の植物の生息場所を奪ってしまう恐れがあります。また、水路等に繁殖すると、船の運航を疎外します。

ナガエツルノゲイトウを見つけた時は

- 1 刈払い機等による機械除草を行わないでください
- 2 除草剤または素手による処理をしてください

今回の調査で確認された主な希少種

準絶滅危惧種

〔コイ目ドジョウ科 体長：約15cm〕

ドジョウ

どんぐり動物

春から秋にかけて見ることができます。
田んぼの稲の成長を助ける淡水魚であり、
藻類や小動物など様々なものを食べます。
えら呼吸と皮膚呼吸が可能な魚で、
皮膚呼吸を利用して冬の間は、泥の中で過ごします。
2018年に準絶滅危惧種に分類されています。

住んでいる場所

- ・田んぼの底（泥の中）、小川、水路
- ・市内では、中新田などで確認されました。

減少した理由

- ・住処である川や田んぼの減少・汚濁
- ・住処である田んぼ内での農薬の過剰使用によるもの
- ・カラドジョウ（外来種）との生存競争



減少種

〔スズメ目アトリ科 体長：約14cm〕

カワラヒワ

どんぐり動物

カワラヒワはスズメに似ていますが、つばさの一部に黄色の模様があることや、尾羽が二つに割れていること、くちばしが太いことなどで判断することができます。
留鳥で、市内どこでも1年中見られることから、海老名市の「市の鳥」に選定されています。

住んでいる場所

- ・農耕地、河原、草原
- ・市内では、大谷などで確認されました。

減少した理由

- ・雑木林や農耕地、河川が減少したことにより、住処や餌が減ってしまったため。



市内の在来種を守るために

今回のデジタルえびな生きもの大調査では、海老名市内で多くの生きものが住んでいることが分かりました。その中には、希少種であるドジョウやカワラヒワなども確認できました。

その一方で、生態系に大きく影響を与える外来種も多く住み着いていることが分かりました。

外来種による生態系の悪影響と生物多様性の損失をこれ以上防ぐため、私たちが今できることを考えていきましょう。

在来種を守るための 3 原則

- ◆ 外来種をむやみに入れない
- ◆ 外来種を捨てない
- ◆ 外来種を広げない

県が指定する絶滅危惧種・準絶滅危惧種の中には、市内に存在している種もあります。外来種に在来種が捕食されたり、エサや生息地域を奪われることで、在来種の個体数が減少することもあります。在来種を守るため、3つの「ない」を心がけましょう。生きものを飼う場合は、責任を持って飼育し続けるようにしましょう。